

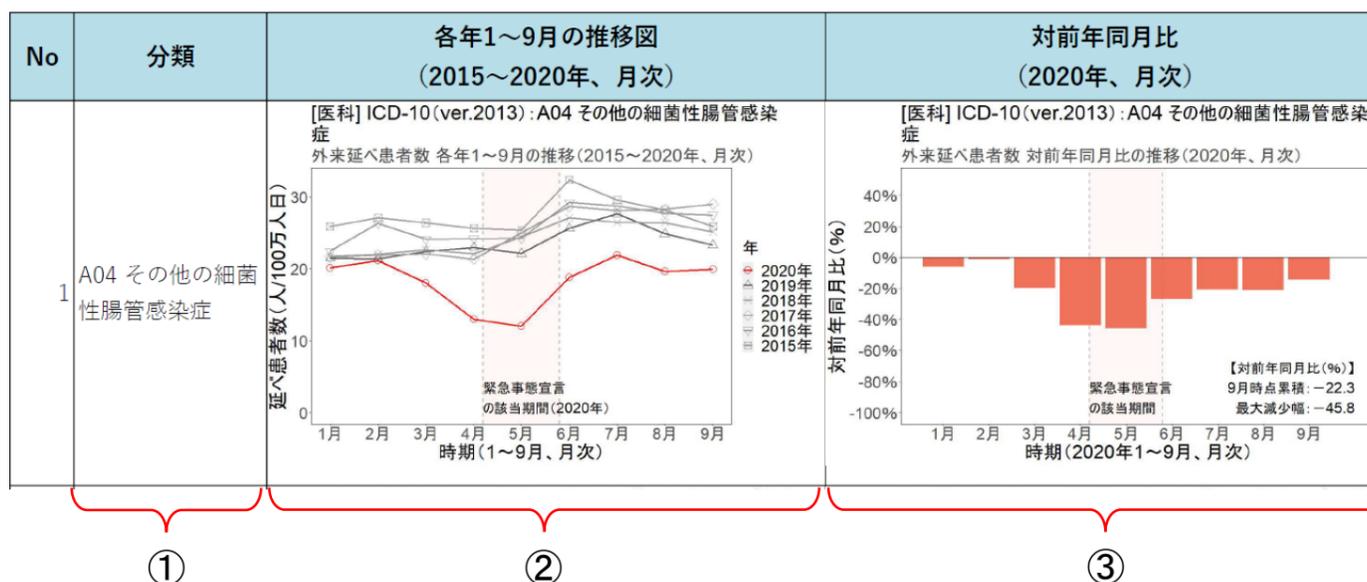
政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究V

コロナ禍における受療行動の変容を検証 資料編

## 資料編について

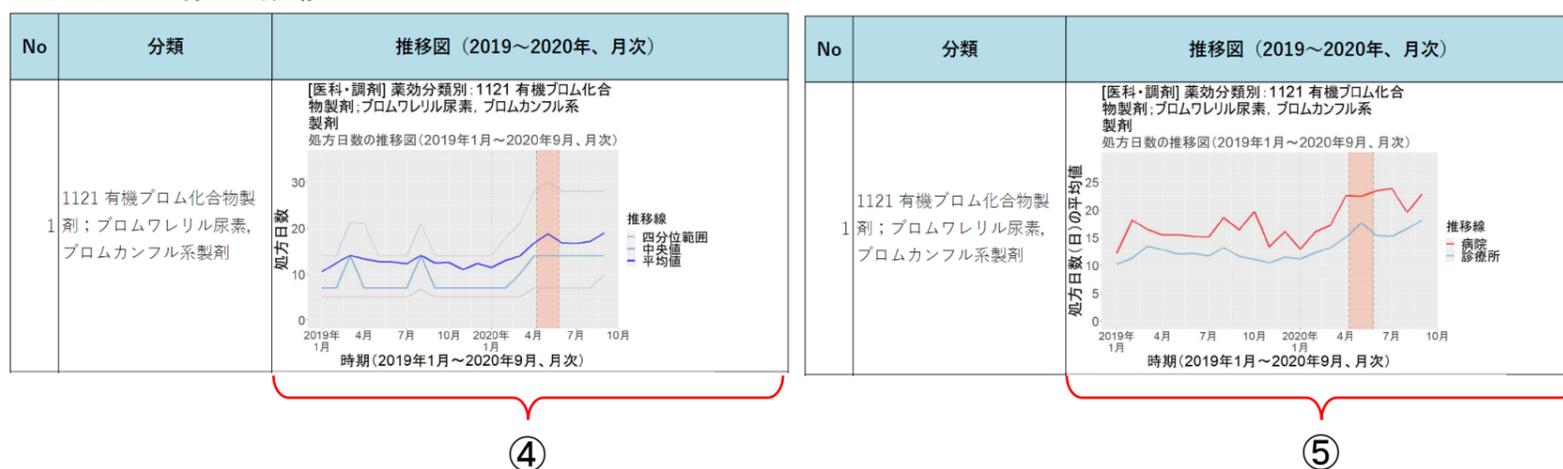
報告書のテーマ1「コロナ禍における受療行動の変容を検証」において、健保組合レセプトデータを用いて患者数の推移と処方日数の推移のグラフを作成し可視化を行った。その結果を資料編として公開する。実態の確認や今後の研究のための仮説構築等にお役立ていただければ幸いである。

### ●患者数の推移のグラフ



	延べ患者数の推移について、以下の分類で集計を行った。	
	医科	歯科
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者数全体(外来・入院)</li> <li>● 年齢階級別(外来・入院)</li> <li>● 疾患(ICD10)別(外来・入院)</li> <li>● 年齢階級・疾患(ICD10)別(外来・入院)</li> <li>● 薬効分類別(外来)</li> <li>● 診療行為別(外来・入院)</li> <li>● 死亡者数(入院と外来の合計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者数全体(外来・入院)</li> <li>● 年齢階級別(外来・入院)</li> </ul>
②	2020年1～9月の延べ患者数の推移が過去5年の1～9月と比べてどのような状態にあったか、折れ線グラフを用いて可視化した。患者数の単位については各月の延べ加入者数100万人日当たり換算し、加入者数の増減に影響を受けないようにした。	
③	2020年1～9月の延べ患者数の対前年同月比について、棒グラフを用いて可視化した。また、グラフ右下に、2020年1～9月までの累積減少(増加)と最大減少月の割合を数値で示した。	

### ●処方日数の推移のグラフ



④	2019年1月～2020年9月にかけての、外来における薬効分類別の医薬品の処方日数を集計し、四分位範囲、中央値、平均値の3つの指標について折れ線グラフを作成した。
⑤	④の平均値について、病院と診療所に分けて折れ線グラフを作成した。

# 目次

## 第 I 章 外来(医科)及び調剤

(ア) 外来延べ患者数	3
① 全体・年齢階級別	3
② ICD-10 別	4
③ 年齢階級別・ICD-10 別	55
・ 0～14 歳・ICD-10(上位 100)	55
・ 15～39 歳・ICD-10(上位 100)	75
・ 40～64 歳・ICD-10(上位 100)	95
④ 薬効分類別	115
・ 薬効分類別	115
・ これまで処方ルールの見直し・明確化の提言の対象となった医薬品	149
⑤ 診療行為別	150
・ 診療行為別	150
・ 電話等再診料(全体・年齢階級別)	158
・ コンタクトレンズ検査料	159
⑥ 対前年同月比(累積)の散布図	160
(イ) 処方日数	166
① 全体・年齢階級別	166
② 薬効分類別	167
③ 薬効分類別・病院/診療所別	204

## 第 II 章 入院(医科・DPC)

(ア) 入院延べ患者数	238
① 全体・年齢階級別	238
② ICD-10 別	239
③ 年齢階級別・ICD-10 別	282
・ 0～14 歳・ICD-10(上位 100)	282
・ 15～39 歳・ICD-10(上位 100)	302
・ 40～64 歳・ICD-10(上位 100)	322
④ 診療行為別	342

## 第 III 章 歯科

(ア) 外来延べ患者数	350
① 全体・年齢階級別	350
(イ) 入院延べ患者数	351
① 全体・年齢階級別	351

## 第 IV 章 その他の指標

(ア) 死亡者数	352
① 全体・年齢階級別	352

# 時系列グラフ

医科 全体・年齢階級別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	全体	<p>[医科] 全体 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 全体 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.3 最大減少幅: -30.5</p>
2	0～14歳	<p>[医科] 年齢階級別: 0～14歳 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 年齢階級別: 0～14歳 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -29.3 最大減少幅: -50.5</p>
3	15～39歳	<p>[医科] 年齢階級別: 15～39歳 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 年齢階級別: 15～39歳 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.3 最大減少幅: -29.2</p>
4	40～64歳	<p>[医科] 年齢階級別: 40～64歳 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 年齢階級別: 40～64歳 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.2 最大減少幅: -20.8</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	A04 その他の細菌性腸管感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
2	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
3	A49 部位不明の細菌感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
4	A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
5	B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
6	B02 带状疱疹 [带状ヘルペス]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
7	B07 ウイルス (性) いぼく疣 <疣贅>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B07 ウイルス(性)いぼく疣 &lt;疣贅&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B07 ウイルス(性)いぼく疣 &lt;疣贅&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
8	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
9	B16 急性B型肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
10	B18 慢性ウイルス性肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
11	B30 ウイルス (性) 結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
12	B34 部位不明のウ イルス感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
13	B35 皮膚糸状菌症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
14	B37 カンジダ症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
15	B59 ニューモシ ス症 (J17.3*)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
16	C16 胃の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.2 最大減少幅: -21.8</p>
17	C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.1 最大減少幅: -15.2</p>
18	C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.3 最大減少幅: -14.4</p>
19	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.4 最大減少幅: -13.7</p>
20	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.8 最大減少幅: -13.1</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
21	C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:0.7 最大減少幅:-9.7</p>
22	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-0.7 最大減少幅:-9.0</p>
23	D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-4.6 最大減少幅:-19.7</p>
24	D22 メラニン細胞性母斑	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:2.2 最大減少幅:-19.8</p>
25	D25 子宮平滑筋腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-6.9 最大減少幅:-23.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
26	D27 卵巣の良性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.1 最大減少幅: -18.3</p>
27	D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.5 最大減少幅: -24.4</p>
28	D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.5 最大減少幅: -22.6</p>
29	D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.1 最大減少幅: -17.2</p>
30	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.3 最大減少幅: -20.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
31	D50 鉄欠乏性貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
32	D64 その他の貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
33	D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
34	D68 その他の凝固障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
35	D69 紫斑病及びその他の出血性病態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
36	D70 無顆粒球症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
37	D72 白血球のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
38	D75 血液及び造血器のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
39	D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
40	D84 その他の免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
41	D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
42	E03 その他の甲状腺機能低下症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
43	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
44	E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
45	E06 甲状腺炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
46	E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 2.1 最大減少幅: -3.2</p>
47	E14 詳細不明の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.1 最大減少幅: -10.2</p>
48	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.9 最大減少幅: -5.1</p>
49	E22 下垂体機能亢進症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.6 最大減少幅: -20.9</p>
50	E28 卵巣機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.2 最大減少幅: -22.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
51	E53 その他のビタミンB群の欠乏症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
52	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
53	E79 プリン及びピリミジン代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
54	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
55	E86 体液量減少(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
56	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
57	F20 統合失調症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
58	F31 双極性感情障害<躁うつ病>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
59	F32 うつ病エピソード	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
60	F34 持続性気分[感情]障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
61	F40 恐怖症性不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.6 最大減少幅: -9.1</p>
62	F41 その他の不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.8 最大減少幅: -7.9</p>
63	F43 重度ストレスへの反応及び適応障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 4.9 最大減少幅: -6.9</p>
64	F44 解離性〔転換性〕障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性〔転換性〕障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性〔転換性〕障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.3 最大減少幅: -5.7</p>
65	F45 身体表現性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.6 最大減少幅: -13.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
66	F48 その他の神経症性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
67	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
68	F80 会話及び言語の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
69	F82 運動機能の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
70	F84 広汎性発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
71	F90 多動性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 5.2 最大減少幅: -3.7</p>
72	G20 パーキンソン< Parkinson>病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン&lt; Parkinson&gt;病 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン&lt; Parkinson&gt;病 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.3 最大減少幅: -12.4</p>
73	G21 続発性パーキンソン< Parkinson>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン&lt; Parkinson&gt;症候群 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン&lt; Parkinson&gt;症候群 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.6 最大減少幅: -10.7</p>
74	G25 その他の錐体外路障害及び異常運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.7 最大減少幅: -4.7</p>
75	G40 てんかん	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.1 最大減少幅: -15.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
76	G43 片頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.7 最大減少幅: -10.9</p>
77	G44 その他の頭痛症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.2 最大減少幅: -13.5</p>
78	G47 睡眠障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.9 最大減少幅: -7.8</p>
79	G56 上肢の単ニューロパチクシ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G56 上肢の単ニューロパチクシ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G56 上肢の単ニューロパチクシ&gt;ー 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.9 最大減少幅: -14.0</p>
80	G57 下肢の単ニューロパチクシ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G57 下肢の単ニューロパチクシ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G57 下肢の単ニューロパチクシ&gt;ー 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.7 最大減少幅: -16.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
81	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.6 最大減少幅: -15.5</p>
82	G64 末梢神経系のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 18.1 最大減少幅: 11.9</p>
83	G80 脳性麻痺	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.0 最大減少幅: -37.3</p>
84	G90 自律神経系の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.8 最大減少幅: -14.7</p>
85	G93 脳のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.8 最大減少幅: -21.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
86	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.2 最大減少幅: -15.7</p>
87	H00 麦粒腫及びびらん<霰>粒腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びびらん&lt;霰&gt;粒腫 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びびらん&lt;霰&gt;粒腫 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -25.6</p>
88	H01 眼瞼のその他の炎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.1 最大減少幅: -25.1</p>
89	H02 眼瞼のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.4 最大減少幅: -24.5</p>
90	H04 涙器の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.0 最大減少幅: -22.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
91	H10 結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -20.0 最大減少幅: -40.0</p>
92	H16 角膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H16 角膜炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H16 角膜炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.3 最大減少幅: -30.9</p>
93	H25 老人性白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H25 老人性白内障 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H25 老人性白内障 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.6 最大減少幅: -16.0</p>
94	H26 その他の白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H26 その他の白内障 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H26 その他の白内障 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.0 最大減少幅: -19.3</p>
95	H33 網膜剥離及び裂孔	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.4 最大減少幅: -18.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
96	H35 その他の網膜障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.3 最大減少幅: -20.4</p>
97	H40 緑内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H40 緑内障 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H40 緑内障 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.6 最大減少幅: -17.3</p>
98	H43 硝子体の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.9 最大減少幅: -23.1</p>
99	H50 その他の斜視	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H50 その他の斜視 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H50 その他の斜視 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -42.4</p>
100	H52 屈折及び調節の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.7 最大減少幅: -41.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
101	H53 視覚障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.6 最大減少幅: -29.7</p>
102	H60 外耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -18.8 最大減少幅: -40.5</p>
103	H61 その他の外耳障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -25.2 最大減少幅: -53.6</p>
104	H65 非化膿性中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -36.3 最大減少幅: -54.6</p>
105	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -46.5 最大減少幅: -71.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
106	H68 耳管炎及び耳管閉塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -24.8 最大減少幅: -41.6</p>
107	H81 前庭機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.8 最大減少幅: -15.2</p>
108	H90 伝音及び感音難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.4 最大減少幅: -29.1</p>
109	H91 その他の難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H91 その他の難聴 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H91 その他の難聴 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.1 最大減少幅: -27.9</p>
110	H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -23.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
111	I10 本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.1 最大減少幅: -8.3</p>
112	I20 狭心症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.5 最大減少幅: -10.8</p>
113	I25 慢性虚血性心疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.5 最大減少幅: -7.8</p>
114	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.3 最大減少幅: -11.5</p>
115	I48 心房細動及び粗動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.4 最大減少幅: -10.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
116	149 その他の不整脈	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.2 最大減少幅: -14.7</p>
117	150 心不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I50 心不全 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I50 心不全 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.2 最大減少幅: -8.2</p>
118	163 脳梗塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I63 脳梗塞 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I63 脳梗塞 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.9 最大減少幅: -13.2</p>
119	165 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.6 最大減少幅: -7.0</p>
120	167 その他の脳血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) :I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.2 最大減少幅: -15.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
121	169 脳血管疾患の 続発・後遺症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I69 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I69 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.8 最大減少幅: -11.0</p>
122	170 アテローム< じゅく<粥>状> 硬化(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I70 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I70 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.8 最大減少幅: -10.6</p>
123	173 その他の末梢 血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I73 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I73 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.5 最大減少幅: -14.4</p>
124	174 動脈の塞栓症 及び血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I74 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I74 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.1 最大減少幅: -12.3</p>
125	195 低血圧(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I95 低血圧(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I95 低血圧(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.0 最大減少幅: -16.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
126	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -42.2 最大減少幅: -70.9</p>
127	J01 急性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -41.9 最大減少幅: -69.4</p>
128	J02 急性咽頭炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -43.0 最大減少幅: -70.1</p>
129	J03 急性扁桃炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -40.6 最大減少幅: -64.6</p>
130	J04 急性喉頭炎及び び気管炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -45.4 最大減少幅: -71.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
131	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -43.7 最大減少幅: -71.8</p>
132	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -63.4 最大減少幅: -92.0</p>
133	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -62.3 最大減少幅: -85.3</p>
134	J20 急性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -48.2 最大減少幅: -77.3</p>
135	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -24.7 最大減少幅: -40.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
136	J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -29.9 最大減少幅: -50.1</p>
137	J32 慢性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -30.0 最大減少幅: -48.7</p>
138	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -46.5 最大減少幅: -70.5</p>
139	J42 詳細不明の慢性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.5 最大減少幅: -17.8</p>
140	J45 喘息	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -28.4 最大減少幅: -44.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
141	K12 口内炎及び関連病変	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
142	K21 胃食道逆流症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
143	K25 胃潰瘍	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
144	K29 胃炎及び十二指腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
145	K31 胃及び十二指腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
146	K51 潰瘍性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.2 最大減少幅: -9.6</p>
147	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.7 最大減少幅: -20.0</p>
148	K58 過敏性腸症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.4 最大減少幅: -13.5</p>
149	K59 その他の腸の機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.8 最大減少幅: -13.9</p>
150	K63 腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.3 最大減少幅: -25.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
151	K64 痔核及び肛門 周囲静脈血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.6 最大減少幅: -15.4</p>
152	K73 慢性肝炎, 他 に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.3 最大減少幅: -9.9</p>
153	K76 その他の肝疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -11.2</p>
154	K80 胆石症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K80 胆石症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K80 胆石症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.2 最大減少幅: -14.9</p>
155	K82 胆のう<嚢> のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K82 胆のう&lt;嚢&gt;のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K82 胆のう&lt;嚢&gt;のその他の疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.1 最大減少幅: -17.3</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
156	L01 膿か<痂>疹	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L01 膿か&lt;痂&gt;疹 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L01 膿か&lt;痂&gt;疹 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.3 最大減少幅: -26.2</p>
157	L03 蜂巣炎<蜂窩 織炎>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.5 最大減少幅: -16.1</p>
158	L08 皮膚及び皮下 組織のその他の局 所感染症	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 2.7 最大減少幅: -11.2</p>
159	L20 アトピー性皮 膚炎	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -15.6</p>
160	L21 脂漏性皮膚炎	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 2.0 最大減少幅: -11.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
161	L25 詳細不明の接触皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
162	L27 摂取物質による皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
163	L29 そうく搔痒症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく搔痒症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく搔痒症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
164	L30 その他の皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
165	L50 じんま<蕁麻疹>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
166	L70 ざ瘡<アクネ>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
167	L81 その他の色素異常症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
168	L84 うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L84 うおのめ&lt;鶏眼&gt;及びべんち&lt;胼胝&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L84 うおのめ&lt;鶏眼&gt;及びべんち&lt;胼胝&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
169	L85 その他の表皮肥厚	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
170	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害,他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害,他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害,他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
171	M06 その他の関節リウマチ	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.7 最大減少幅: -13.3</p>
172	M10 痛風	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M10 痛風 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M10 痛風 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -9.8</p>
173	M13 その他の関節炎	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.6 最大減少幅: -19.1</p>
174	M17 膝関節症 [膝の関節症]	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M17 膝関節症[膝の関節症] 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M17 膝関節症[膝の関節症] 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.0 最大減少幅: -16.9</p>
175	M19 その他の関節症	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M19 その他の関節症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):M19 その他の関節症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.3 最大減少幅: -8.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
176	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
177	M47 脊椎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
178	M48 その他の脊椎障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
179	M50 頸部椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
180	M51 その他の椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
181	M53 その他の脊 柱障害, 他に分類 されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.5 最大減少幅: -15.2</p>
182	M54 背部痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.3 最大減少幅: -14.5</p>
183	M75 肩の傷害< 損傷>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.6 最大減少幅: -13.3</p>
184	M79 その他の軟 部組織障害, 他に 分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.3 最大減少幅: -14.1</p>
185	M81 骨粗しょう <鬆>症<オステ オポロシス>, 病的骨折を伴わ ないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.7 最大減少幅: -13.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
186	N18 慢性腎臓病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:0.4 最大減少幅:-5.8</p>
187	N19 詳細不明の腎不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-0.2 最大減少幅:-6.4</p>
188	N20 腎結石及び尿管結石	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-3.9 最大減少幅:-12.7</p>
189	N28 腎及び尿管の その他の障害、他 に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-1.0 最大減少幅:-9.3</p>
190	N30 膀胱炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N30 膀胱炎 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N30 膀胱炎 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-5.1 最大減少幅:-15.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
191	N32 その他の膀胱障害	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.0 最大減少幅: -11.1</p>
192	N40 前立腺肥大(症)	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.8 最大減少幅: -9.9</p>
193	N76 膣及び外陰の その他の炎症	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N76 膣及び外陰の その他の炎症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N76 膣及び外陰の その他の炎症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.2 最大減少幅: -17.7</p>
194	N80 子宮内膜症	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 3.1 最大減少幅: -9.5</p>
195	N86 子宮頸(部) のびらん及び外反 (症)	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N86 子宮頸(部) のびらん及び外反 (症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : N86 子宮頸(部) のびらん及び外反 (症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.5 最大減少幅: -22.0</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
196	N87 子宮頸 (部) の異形成	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.3 最大減少幅: -20.2</p>
197	N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.7 最大減少幅: -17.0</p>
198	N94 女性生殖器及び月経周期に関する疼痛及びその他の病態	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 10.4 最大減少幅: 0.5</p>
199	N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.3 最大減少幅: -12.1</p>
200	N97 女性不妊症	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>【医科】ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.0 最大減少幅: -24.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
201	O20 妊娠早期の出血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.6 最大減少幅: -17.4</p>
202	O21 過度の妊娠嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.7 最大減少幅: -7.5</p>
203	O24 妊娠中の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.4 最大減少幅: -5.5</p>
204	O60 切迫早産及び早産	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.1 最大減少幅: -18.0</p>
205	O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.6 最大減少幅: -14.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
206	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.0 最大減少幅: -34.5</p>
207	Q21 心(臓)中隔の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.6 最大減少幅: -28.6</p>
208	Q25 大型動脈の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.3 最大減少幅: -28.7</p>
209	Q61 のう<囊>胞性腎疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう&lt;囊&gt;胞性腎疾患 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう&lt;囊&gt;胞性腎疾患 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 3.7 最大減少幅: -4.7</p>
210	Q65 股関節部の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.8 最大減少幅: -23.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
211	Q66 足の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
212	Q78 その他の骨軟骨異形成<形成異常>(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成&lt;形成異常&gt;(症) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成&lt;形成異常&gt;(症) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
213	Q82 皮膚のその他の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
214	Q90 ダウン<Down>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン&lt;Down&gt;症候群 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン&lt;Down&gt;症候群 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
215	R00 心拍の異常	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
216	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
217	R10 腹痛及び骨盤痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
218	R11 悪心及び嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
219	R25 異常不随意運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
220	R31 詳細不明の血尿	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
221	R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -16.9</p>
222	R50 その他の原因による熱及び不明熱	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -32.4 最大減少幅: -51.6</p>
223	R51 頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.0 最大減少幅: -19.8</p>
224	R52 疼痛, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.1 最大減少幅: -9.2</p>
225	R53 倦怠(感)及び疲労	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.8 最大減少幅: -9.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
226	R60 浮腫, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.8 最大減少幅: -9.6</p>
227	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.5 最大減少幅: -17.4</p>
228	R68 その他の全身症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.6 最大減少幅: -14.6</p>
229	R73 血糖値上昇	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.0 最大減少幅: -8.7</p>
230	S00 頭部の表在損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -15.2 最大減少幅: -36.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
231	S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.5 最大減少幅: -18.2</p>
232	S42 肩及び上腕の骨折	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.6 最大減少幅: -18.0</p>
233	S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 11.3 最大減少幅: -1.9</p>
234	S52 前腕の骨折	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -19.8</p>
235	S62 手首及び手の骨折	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10 (ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.4 最大減少幅: -42.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
236	S82 下腿の骨折、 足首を含む	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.1 最大減少幅: -26.0</p>
237	S83 膝の関節及び 靭帯の脱臼, 捻挫 及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.6 最大減少幅: -23.4</p>
238	S92 足の骨折, 足 首を除く	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.8 最大減少幅: -17.0</p>
239	S93 足首及び足の 関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びスト レイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -20.1 最大減少幅: -46.0</p>
240	T14 部位不明の損 傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.5 最大減少幅: -31.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
241	T63 有毒動物との接触による毒作用	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.9 最大減少幅: -35.9</p>
242	T78 有害作用, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -30.6</p>
243	T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.4 最大減少幅: -4.0</p>
244	T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.0 最大減少幅: -13.5</p>
245	Z33 妊娠中の女性	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.6 最大減少幅: -10.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
246	Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.1 最大減少幅: -19.3</p>
247	Z93 人工的開口状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.7 最大減少幅: -14.0</p>
248	Z94 臓器及び組織の移植後の状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.1 最大減少幅: -15.3</p>
249	Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.7 最大減少幅: -9.5</p>
250	Z96 その他の機能性の挿入物の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.3 最大減少幅: -7.6</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
251	Z98 その他の術後状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年</li> <li>2019年</li> <li>2018年</li> <li>2017年</li> <li>2016年</li> <li>2015年</li> </ul> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:1.3 最大減少幅:-12.2</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-33.0 最大減少幅：-54.7</p>
2	J45 喘息 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-36.7 最大減少幅：-57.0</p>
3	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-45.6 最大減少幅：-77.1</p>
4	J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-48.4 最大減少幅：-80.8</p>
5	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-17.6 最大減少幅：-34.7</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
6	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
7	H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
8	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
9	J02 急性咽喉炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽喉炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽喉炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
10	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
11	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.3 最大減少幅：-24.9</p>
12	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-37.4 最大減少幅：-59.2</p>
13	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-46.6 最大減少幅：-78.7</p>
14	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.5 最大減少幅：-63.2</p>
15	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-51.1 最大減少幅：-77.9</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
16	H61 その他の外耳障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-30.2 最大減少幅：-59.4</p>
17	H65 非化膿性中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-39.3 最大減少幅：-60.9</p>
18	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：3.7 最大減少幅：-11.6</p>
19	J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-50.6 最大減少幅：-79.5</p>
20	H60 外耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-30.3 最大減少幅：-53.0</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
21	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):T14 部位不明の損傷(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):T14 部位不明の損傷(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
22	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
23	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
24	L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt;疹(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt;疹(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
25	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
26	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-38.8 最大減少幅：-78.6</p>
27	T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.4 最大減少幅：-34.8</p>
28	L01 膿か<痂>疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L01 膿か&lt;痂&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L01 膿か&lt;痂&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-22.2 最大減少幅：-37.4</p>
29	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-47.9 最大減少幅：-73.9</p>
30	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-49.2 最大減少幅：-79.9</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
31	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-59.2 最大減少幅：-92.5</p>
32	R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-47.9 最大減少幅：-74.8</p>
33	L29 そうく搔痒症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく搔痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく搔痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-23.8 最大減少幅：-43.8</p>
34	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.1 最大減少幅：-23.9</p>
35	H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.0 最大減少幅：-32.2</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
36	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-2.2 最大減少幅：-22.4</p>
37	J31 慢性鼻炎、鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J31 慢性鼻炎、鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J31 慢性鼻炎、鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-46.3 最大減少幅：-73.7</p>
38	L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：21.2 最大減少幅：-2.2</p>
39	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-31.1 最大減少幅：-56.4</p>
40	J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-48.7 最大減少幅：-76.2</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
41	J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J18 肺炎, 病原体不詳(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J18 肺炎, 病原体不詳(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-53.3 最大減少幅：-82.3</p>
42	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-15.4 最大減少幅：-33.2</p>
43	L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L22 おむつ&lt;ナプキン&gt;皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L22 おむつ&lt;ナプキン&gt;皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-33.5 最大減少幅：-51.7</p>
44	E86 体液量減少(症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E86 体液量減少(症)(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E86 体液量減少(症)(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-50.9 最大減少幅：-76.5</p>
45	H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H50 その他の斜視(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H50 その他の斜視(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.0 最大減少幅：-48.4</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
46	T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T63 有毒動物との接触による毒作用(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T63 有毒動物との接触による毒作用(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.7 最大減少幅：-37.1</p>
47	H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.3 最大減少幅：-46.7</p>
48	R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-26.2 最大減少幅：-51.3</p>
49	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.6 最大減少幅：-28.4</p>
50	G40 てんかん (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.3 最大減少幅：-28.4</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
51	F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.6 最大減少幅：-34.3</p>
52	R56 けいれん<痙攣>，他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん&lt;痙攣&gt;，他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん&lt;痙攣&gt;，他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-41.3 最大減少幅：-59.9</p>
53	F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：0.1 最大減少幅：-11.5</p>
54	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-17.3 最大減少幅：-34.7</p>
55	B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-61.9 最大減少幅：-86.0</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
56	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-2.1 最大減少幅：-20.6</p>
57	H53 視覚障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.2 最大減少幅：-42.0</p>
58	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-34.4 最大減少幅：-55.3</p>
59	J46 喘息発作重積状態 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-51.2 最大減少幅：-73.7</p>
60	S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-28.8 最大減少幅：-67.3</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
61	R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-30.5 最大減少幅：-57.8</p>
62	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.1 最大減少幅：-34.0</p>
63	L74 エクリン汗腺の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.8 最大減少幅：-50.0</p>
64	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-40.8 最大減少幅：-70.7</p>
65	F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.2 最大減少幅：-39.3</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
66	S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.4 最大減少幅：-37.2</p>
67	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.2 最大減少幅：-22.4</p>
68	G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-3.3 最大減少幅：-20.0</p>
69	H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-34.8 最大減少幅：-54.8</p>
70	J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-31.2 最大減少幅：-49.2</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
71	H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-21.5 最大減少幅：-48.1</p>
72	J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-28.9 最大減少幅：-50.4</p>
73	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.8 最大減少幅：-38.8</p>
74	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-24.7 最大減少幅：-44.1</p>
75	F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F98 小児&lt;児童&gt;期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F98 小児&lt;児童&gt;期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-15.9 最大減少幅：-28.9</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
76	R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-45.6 最大減少幅：-77.2</p>
77	R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.7 最大減少幅：-32.8</p>
78	S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-7.7 最大減少幅：-26.4</p>
79	G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.5 最大減少幅：-41.3</p>
80	R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-23.6 最大減少幅：-47.8</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
81	M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-25.4 最大減少幅：-55.5</p>
82	Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：1.0 最大減少幅：-27.3</p>
83	M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.6 最大減少幅：-42.2</p>
84	M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-24.0 最大減少幅：-52.9</p>
85	S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.1 最大減少幅：-25.4</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
86	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-6.5 最大減少幅：-21.8</p>
87	B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-43.3 最大減少幅：-80.6</p>
88	B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.7 最大減少幅：-31.8</p>
89	Q21 心 (臓) 中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心 (臓) 中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心 (臓) 中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.6 最大減少幅：-32.5</p>
90	L28 慢性単純性苔せん<癬>及び痒疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん&lt;癬&gt;及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん&lt;癬&gt;及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-19.7 最大減少幅：-39.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
91	L03 蜂巣炎<蜂窩 織炎> (年齢階 級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt;(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt;(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-7.2 最大減少幅：-30.6</p>
92	L27 摂取物質によ る皮膚炎 (年齢階 級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-24.0 最大減少幅：-40.2</p>
93	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：0～ 14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.0 最大減少幅：-24.1</p>
94	M25 その他の関 節障害、他に分類 されないもの(年 齢階級：0～14 歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-19.8 最大減少幅：-50.0</p>
95	D22 メラニン細胞 性母斑 (年齢階 級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-1.5 最大減少幅：-25.1</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級: 0~14歳)

No	分類	各年1~9月の推移図 (2015~2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
96	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
97	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
98	F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
99	S62 手首及び手の骨折 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
100	E34 その他の内分泌障害 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E34 その他の内分泌障害 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E34 その他の内分泌障害 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>